

## 大会規定および監督・選手注意事項

1. 本大会は、2019年度日本陸上競技連盟競技規則駅伝競走規準ならびに本大会規定により実施する。
2. 各校の監督は、競技役員の責務を確実に果たすこと。
3. エントリーされた選手であれば、どの区間でも走ることができる。
4. 正式（最終）オーダーは、当日8時00分～8時30分までにロビー受付係に提出すること。  
なお、正式オーダー提出後の選手変更は認められない。
5. ナンバーカード、タスキはオーダー提出時、主催者が用意したものを使用すること。
6. 競技の進行（招集完了時刻・スタート時刻）については、競技日程の通りとする。
7. 出発点は、ホームストレート100mスタート地点とする。
8. 中継点・決勝点は、ホームストレート100m中間点とする。
9. ウォーミングアップは、下記の場所で行う。
  - サブトラックアウトレーン及び芝生。小コースのレース中には横断しないこと。
  - 競技場周辺（一般の方に迷惑をかけたり競技の妨げにならない場所）
  - 競技場内メイントラックバックストレート
10. 選手招集場は、競技場ホームストレート北側砂場付近とする。競技場外側から入る。
11. 競技中、タスキは必ず肩からかけること。かけていない場合は失格とする。ただし、競技場内では手に持ってもよい。
12. 競技場外の道路では、センターラインより左側を走ること。（反対車線は車が通行するため）
13. 伴走は一切禁止する。伴走が確認された場合は、失格の原因となる。
14. コースを間違えた場合は失格となるが、その判定は審判長が行う。
15. 競技者が不慮の事故のためにレースを放棄した場合は、次走区間より次走者が出発する。  
その場合、当該チームはオープン扱いとなるが、区間記録は認めるものとする。
16. 全区間のタスキリレーができないチームは、出場することはできない。その場合の連絡は学校受付で行うこと。
17. 応援はスタンドで行い、競技場内に入らないこと。
18. 競技場外の走路の応援においては、走路員・監察員の指示に従い、競技運営に支障のないよう注意すること。特に、選手の走行中にコースを横切るとは厳に慎むこと。
19. 閉会式の参加は、8位入賞校と区間賞3位までの選手のみとする。
20. 競技会中の疾病・事故については、応急処置等のみ行う。大会期間中に発生したケガの補償は、日本スポーツ振興センター法の定めを適用する。